

都市消防委員会
説明資料

令和4年3月15日

消防局

目 次

	頁
1 女性消防官について	1
(1) 勤務形態別配置状況	1
(2) 所属別配置状況	1
(3) 執務環境の整備状況	2
2 消防局に提出される主な届出について	3
3 交通事故について	4
(1) 交通事故件数	4
(2) 交通事故防止に向けた主な取組み内容	4
4 救急課程の教育スケジュールについて	5
5 消防学校の共同設置における主な検討課題について	5
6 消防団について	6
(1) 基本消防団の任務	6
(2) 火災発生件数と延べ出動人員の推移	6
(3) 定員と実員の推移	7
(4) 出場手当	8
7 令和3年度戸別訪問による防災用品を活用した地域防災力向上促進事業の 実施結果について	9
8 家具転倒防止ボランティアの派遣実績について	10
9 大阪市火災を受けた特別査察における主な指摘事項について	11

	頁
10 救急搬送について	12
(1) 救急搬送困難事案の月別発生件数	12
(2) 入電から医療機関収容までの平均所要時間	12
11 心肺停止傷病者に対するDNARの対応イメージについて	13
12 救命講習等について	13
(1) 実施状況	13
(2) 中止期間	14
13 愛知県防災ヘリコプターの受託について	15
(1) 予算額の内訳	15
(2) 消防航空隊の組織	15
14 非常用救急車の配置状況及び出動実績について	16
15 指令センターの共同運用に向けたスケジュールについて	17

1 女性消防官について

(1) 勤務形態別配置状況

令和3.4.1現在

区 分	人 数 (人)
毎 日 勤 務	53
交 替 制 勤 務	9
合 計	62

注 毎日勤務の人数には、新規採用者11人を含む。

(2) 所属別配置状況

令和3.4.1現在

区 分	人 数 (人)	
消 防 局	20	
消 防 署	総 務 課	9
	予 防 課	25
	警防地域第一(二)課	8
合 計	62	

注1 消防局の人数には、新規採用者11人を含む。

2 消防局の人数のうち、1人は交替制勤務者である。

(3) 執務環境の整備状況

令和3.4.1現在

区 分	仮 眠 室 (%)	浴 室 (%)	ト イ レ (%)
名 古 屋	24.6	24.6	33.8
札 幌	19.6	7.8	41.2
横 浜	29.2	29.2	29.2
京 都	46.8	46.8	46.8
大 阪	22.5	22.5	31.5
神 戸	56.7	43.3	70.0

2 消防局に提出される主な届出について

令和3年中

区 分	届出件数 (件)
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書	35,682
防火・防災管理者選任（解任）届出書	10,489
消防訓練実施届	10,052
消防計画作成（変更）届出書	8,818
道路工事届	7,064
工事整備対象設備等着工届出書	5,762
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書	5,682

3 交通事故について

(1) 交通事故件数

令和4.2.28現在

区 分	緊急走行中 (件)	緊急走行中以外 (件)
消防用自動車	3	6
救急用自動車	7	6
その他の車両	—	6
合 計	10	18

(2) 交通事故防止に向けた主な取組み内容

- ・ 事故防止体制の確立のための、事故防止責任者の指定
- ・ 全職員に対する安全運転教養
- ・ 緊急走行を実施するための教養及び技量確認
- ・ 緊急走行を実施している職員に対する教養
- ・ 交通事故を発生させた職員に対する再教育

4 救急課程の教育スケジュールについて

令和元年度以前	<従来のスケジュール>					
	11月	12月	1月	2月	3月	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 基礎教育 (座学・実習) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 総合教育 (同乗実習 ・応用訓練) </div>		
令和2年度	11月	12月	1月	2月	3月	4月
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 基礎教育 (座学 ・実習) </div>	(中断)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 総合教育 (同乗実習 ・応用訓練) </div>	(中断)
令和3年度	11月	12月	1月	2月	3月	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 入校前同乗研修 【原則4日以上と同乗研修を各所属で実施】 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 基礎教育 (座学・実習) 【1月中旬からリモート実施】 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 総合教育 (同乗実習 ・応用訓練) </div>		

注1 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中断したため、基礎教育の一部を令和3年4月に実施。

2 令和3年度は、従来のスケジュールどおりに修了する予定である。

5 消防学校の共同設置における主な検討課題について

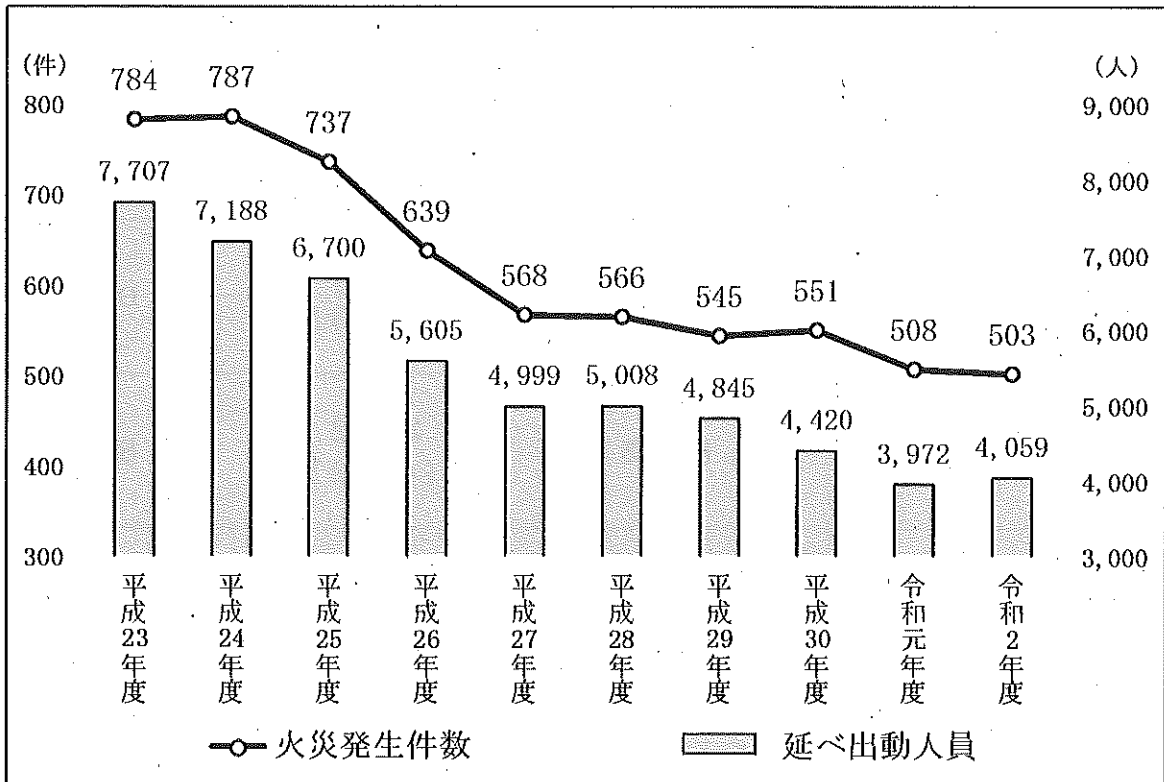
- ・ 本市消防力の維持向上
- ・ 県内消防力の強化につながる運営体制
- ・ 中長期的な視点での運営経費の合理性

6 消防団について

(1) 基本消防団の任務

区 分		内 容
平 常 時		<ul style="list-style-type: none"> 火災予防の推進 自主防災組織の指導 その他の地域防災活動
災 害 時	火 災 等	<ul style="list-style-type: none"> 消防警戒区域の設定 警戒活動 消防隊が行う消防防災活動に対する補助活動
	震 水 災 炎 その他非常災害	<ul style="list-style-type: none"> 消火活動 人命救助活動 救護活動 その他の消防防災活動

(2) 火災発生件数と延べ出動人員の推移



(3) 定員と実員の推移

区 分	定 員 (人)	実 員 (人)	充 足 率 (%)
平成 24 年度	6,820	6,121 (340)	89.8
平成 25 年度	6,820	6,094 (355)	89.4
平成 26 年度	6,820	5,998 (364)	87.9
平成 27 年度	6,820	5,762 (371)	84.5
平成 28 年度	6,820	5,715 (386)	83.8
平成 29 年度	6,820	5,672 (400)	83.2
平成 30 年度	6,820	5,579 (397)	81.8
令和 元 年 度	6,820	5,504 (415)	80.7
令和 2 年 度	6,845	5,382 (442)	78.6
令和 3 年 度	6,845	5,264 (451)	76.9

注1 各年度とも4月1日現在の数値を示す。

2 () 内の数値は、女性消防団員の実員数を内数で示す。

(4) 出場手当

区 分	支 給 対 象 事 案	支 給 金 額	
		令 和 3 年 度 (円)	令 和 4 年 度 (円)
災 害 対 応	火災並びに救助、警戒及び救急 事案に出動したとき	3,500 (3時間未満)	4,000 (3時間未満)
		7,000 (3時間以上)	8,000 (3時間以上)
警 戒 警 備	災害対応以外の警戒活動に従事 したとき	1,000	1,000
非 常 配 備	第1及び第2非常配備が指示さ れ、消防団本部を設置したとき	1,000	4,000 (3時間未満)
	第3及び第4非常配備が指示さ れ、消防団本部を設置したとき	7,000	8,000 (3時間以上)
訓 練 指 導 等	市民を対象とした訓練指導に従 事したとき	3,500	4,000
	市民を対象とした訓練指導を統 括する者として従事したとき(名 古屋市マイスター消防団に所属 する者に限る。)	4,500	5,000
	防火防災指導に従事したとき	1,000	4,000
教 養 訓 練	消防署員立会い(合同)の訓練 等に従事したとき	1,000	4,000

注 支給金額は、出場1回当たりの支給金額を示す。

7 令和3年度戸別訪問による防災用品を活用した地域防災力向上促進事業の実施結果について

令和4. 2. 28現在

区分	対象世帯数 (世帯)	回答世帯数 (世帯)	防災用品配付前における 寝室の家具転倒防止対策 実施率 (A) (%)	防災用品配付後における 寝室の家具転倒防止対策 実施率 (B) (%)	実施率の差 (B-A)
千種	11,308	6,018 (53.2%)	75.1	91.3	16.2
東	9,536	3,568 (37.4%)	70.3	85.7	15.4
北	16,118	8,338 (51.7%)	69.5	77.8	8.3
西	13,961	6,426 (46.0%)	70.6	80.6	10.0
中村	13,974	7,649 (54.7%)	70.0	86.5	16.5
中	11,470	3,888 (33.9%)	71.3	88.8	17.5
昭和	11,225	4,589 (40.9%)	75.0	89.3	14.3
瑞穂	6,830	3,782 (55.4%)	72.4	85.4	13.0
熱田	7,529	3,621 (48.1%)	70.2	84.2	14.0
中川	20,517	9,694 (47.2%)	75.1	92.7	17.6
港	14,822	10,838 (73.1%)	69.2	91.6	22.4
南	11,322	7,023 (62.0%)	72.6	92.0	19.4
守山	15,896	9,140 (57.5%)	66.8	89.2	22.4
緑	19,742	13,245 (67.1%)	81.5	94.6	13.1
名東	14,717	6,718 (45.6%)	73.9	91.2	17.3
天白	17,443	10,315 (59.1%)	83.1	92.5	9.4
合計	216,410	114,852 (53.1%)	73.6	89.2	15.6

注1 対象世帯数は、令和3年4月1日現在の数値である。

2 回答世帯数欄の()内の数値は、対象世帯数に対する割合を示す。

3 寝室の家具転倒防止対策実施率は、回答世帯数に対する割合を示す。

4 防災用品配付後における寝室の家具転倒防止対策実施率は、対策を実施する意向がある世帯を含めた割合である。

8 家具転倒防止ボランティアの派遣実績について

区 分	令 和 2 年 度 (軒)	令 和 3 年 度 (軒)
千 種	0	2
東	1	2
北	9	47
西	5	7
中 村	2	11
中	2	4
昭 和	18	26
瑞 穂	3	16
熱 田	1	9
中 川	0	0
港	4	32
南	7	8
守 山	15	23
緑	27	91
名 東	0	16
天 白	0	2
合 計	94	296

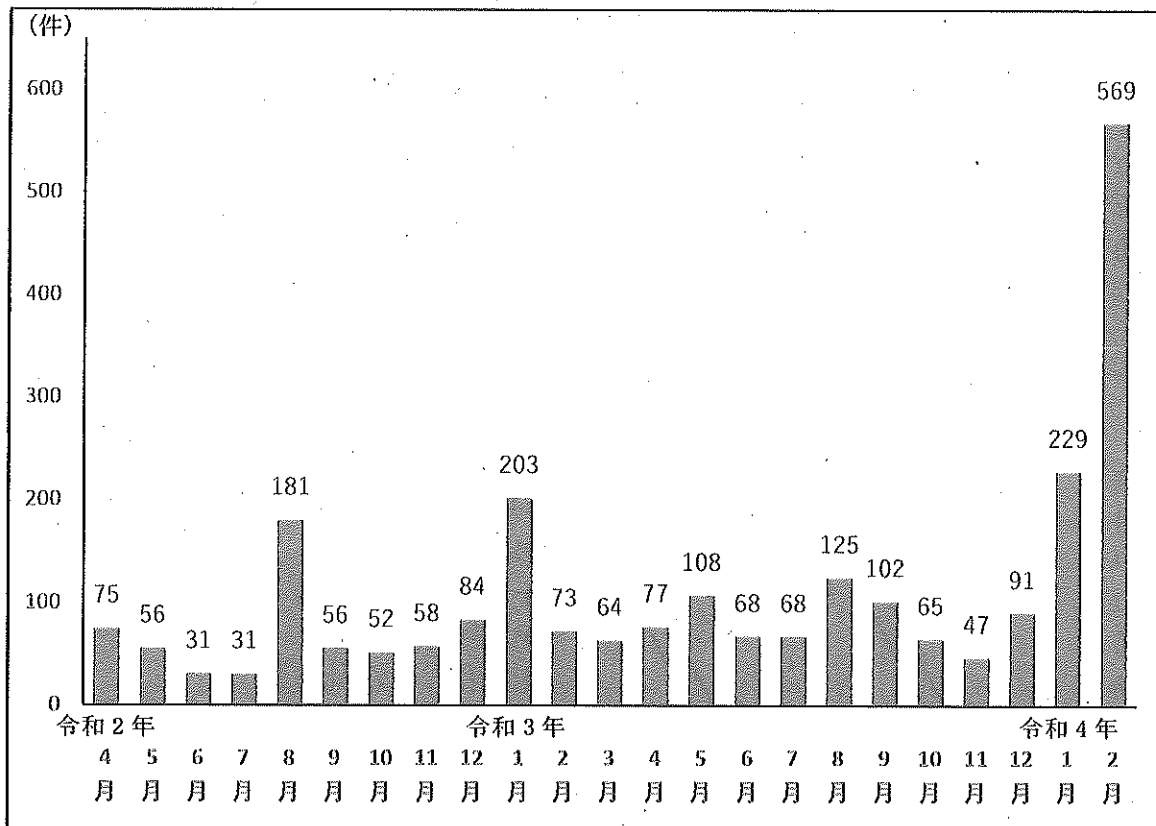
注 令和3年度は、令和4年1月31日現在の数値を示す。

9 大阪市火災を受けた特別査察における主な指摘事項について

区 分	対 象 物 数 (件)
防火対象物点検の未実施・未報告	130
消防用設備等点検の未実施・未報告	84
防火管理者の未選任・未届	61
消防計画の未作成・未届	52
避難施設の管理に関する不備	35
防火戸の管理に関する不備	32
消防用設備等の維持管理に関する不備	32

10 救急搬送について

(1) 救急搬送困難事案の月別発生件数

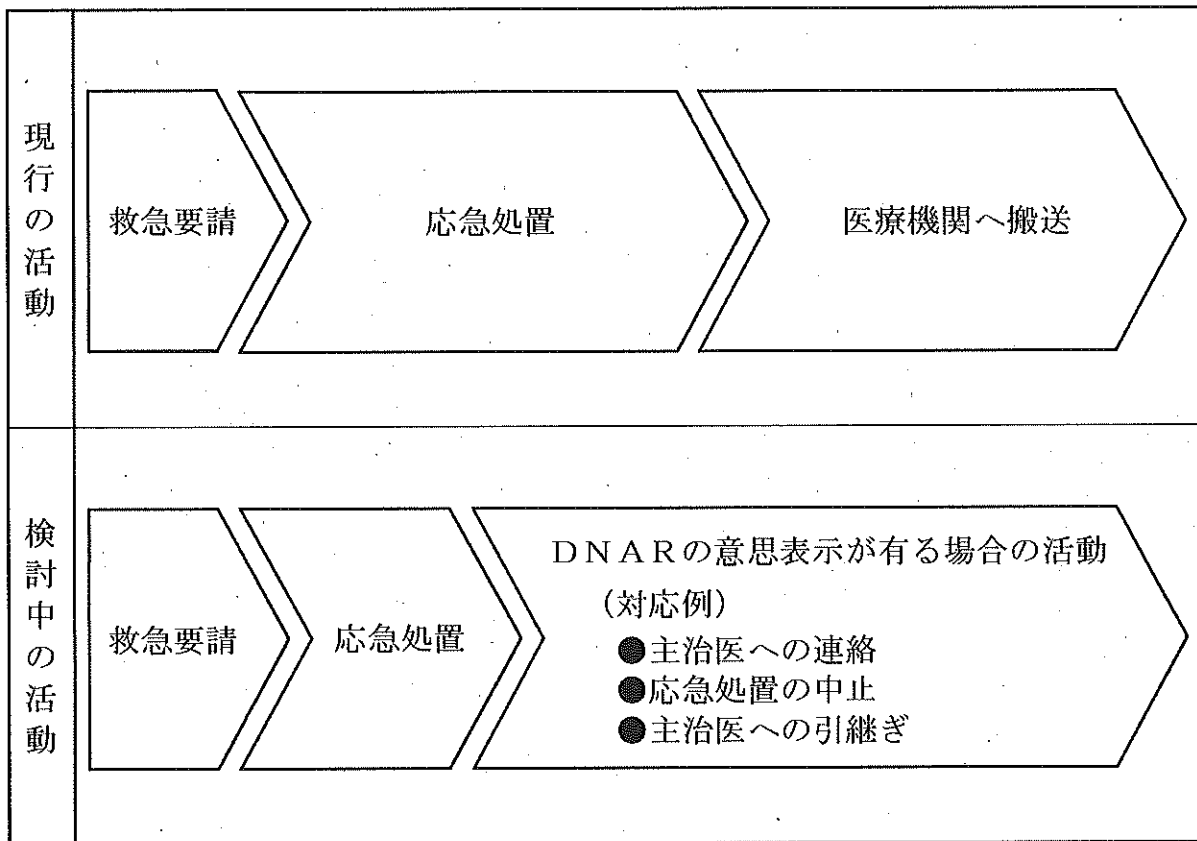


注 救急搬送困難事案とは、救急隊の現場での活動時間が30分以上で、かつ医療機関への受入要請を4回以上行ったものをいう。

(2) 入電から医療機関収容までの平均所要時間

令和2年中 (分)	令和3年中 (分)
31.4	32.6

11 心肺停止傷病者に対するDNARの対応イメージについて



12 救命講習等について

(1) 実施状況

区 分	実 施 回 数 (回)	受 講 人 数 (人)
令和元年中	1, 642 (77)	28, 832 (2, 533)
令和2年中	893 (34)	10, 898 (296)
令和3年中	872 (34)	10, 454 (344)

注1 表中の各欄は、救命入門コース、普通救命講習、上級救命講習及び応急手当普及員講習の実施状況を示す。

2 各欄の()内の数値は、小・中学生が受講したものを示す。

3 令和元年中の数値は、平成31年1月1日から令和元年12月31日までのものを示す。

(2) 中止期間

区 分	中 止 期 間	日 数 (日)	合 計 (日)	
令和2年中	全部中止	3月 1日～ 6月14日 11月30日～12月31日	138	234
	一部中止	8月26日～11月29日	96	
令和3年中	全部中止	1月 1日～ 3月 7日 5月12日～ 6月20日 8月27日～ 9月30日	141	290
	一部中止	3月 8日～ 5月11日 6月21日～ 8月26日 10月 1日～10月17日	149	

注 一部中止とは、消防署等において開催する講習のうち、一部が中止されていた期間をいう。

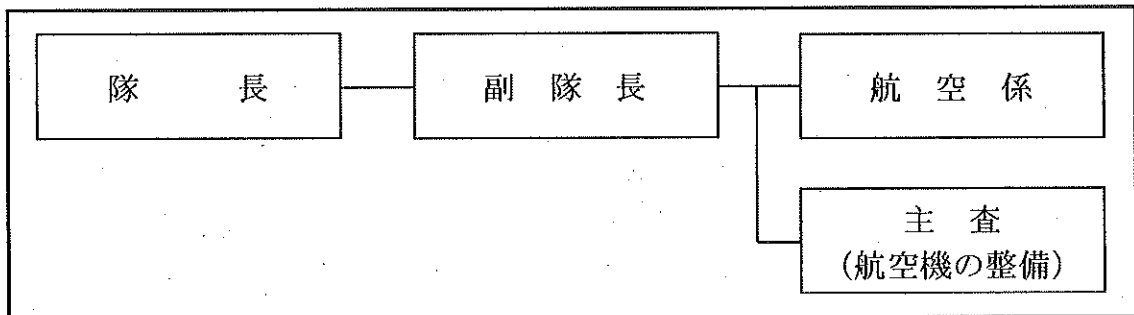
13 愛知県防災ヘリコプターの受託について

(1) 予算額の内訳

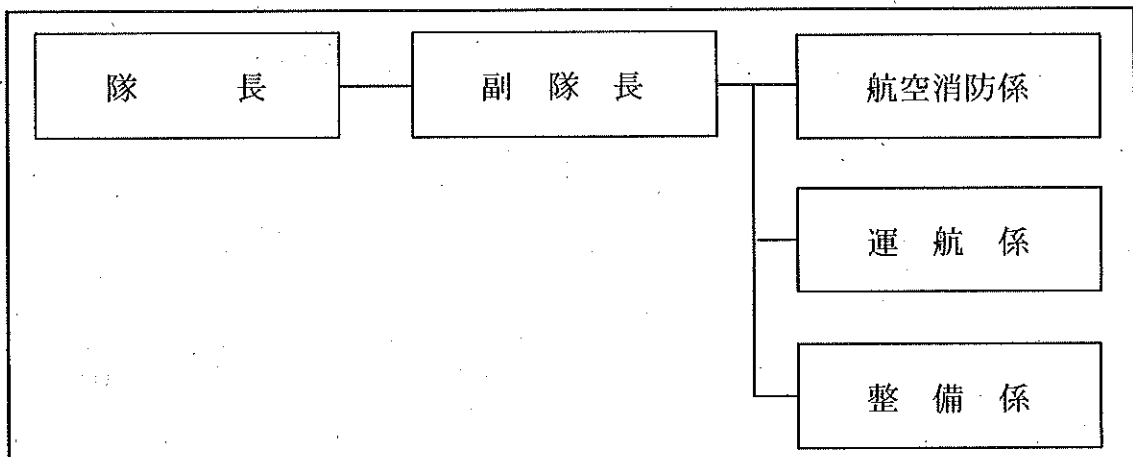
区 分	予 算 額 (千円)	内 容
人 件 費	98,132	・増員分の給料・手当 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 航空消防係員 運航係員 整備係員 </div> 等
物 件 費	346,819	・資格取得費 ・整備用消耗品費 ・燃料費 等
合 計	444,951	—

(2) 消防航空隊の組織

ア 令和3年度



イ 令和4年度



14 非常用救急車の配置状況及び出動実績について

区 分	配 置 数 (両)	出 動 件 数	
		令和2年中 (件)	令和3年中 (件)
千 種 消防署	1	8	25
東 消防署	1	7	6
北 消防署	1	15	11
西 消防署	1	15	30
中 村 消防署	1	10	15
中 消防署	1	6	21
昭 和 消防署	1	4	5
瑞 穂 消防署	1	2	11
熱 田 消防署	1	6	7
中 川 消防署	1	13	18
港 消防署	1	2	9
南 消防署	1	8	35
守 山 消防署	1	15	26
緑 消防署	1	24	33
名 東 消防署	1	9	16
天 白 消防署	1	44	29
合 計	16	188	297

注 配置数は、令和3年12月31日現在の数値を示す。

15 指令センターの共同運用に向けたスケジュールについて

区 分	内 容
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相互応援体制に関する事 ○ 人員(派遣職員)に関する事 ○ 事務委託に伴う経費に関する事
令和5年度 ～ 令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度 事務委託に関する規約について関係地方公共団体の議会の議決を経て制定、告示するとともに知事に届出
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和7年4月1日 指令センターの共同運用開始